

公益財団法人日本バレーボール協会 2013 年度第 6 回理事会(定例) 概要

1 日 時 : 2013 年 10 月 22 日(火) 14:00~16:10

2 会 場 : 公益財団法人日本バレーボール協会 事務局内会議室(東京・渋谷区)

3 出席者 :

理事総数 15 名

出席理事 12 名

代表理事

羽牟裕一郎

理事

岩満一臣、大塚慶二郎、岡野貞彦、川合正矩、下山隆志、江草佳江(旧姓:竹下)、
西脇克治、林義治、福本ともみ、村松泰子、山口香(議題 3 まで出席)

監事総数 3 名

出席監事 2 名

高橋治憲、廣紀江

4 議 長 : 代表理事 羽牟裕一郎

5 決議事項

- (1) 組織改定について
- (2) 事務局長の選任について
- (3) 運営委員の選任について
- (4) 委員会委員の追加選任について
- (5) 特定資産の取り崩しについて

6 議事の経過の要領及びその結果

定刻、代表理事が議長席に着き開会を宣し、本理事会は、定款第 41 条に定める定足数を満たしており、適法に成立した旨を告げた。

その後、議事録記名押印理事に大塚理事を選出。次の議案の審議に入った。

(1) 組織改定について

議長及び事務局員より、2014年1月1日付けで組織の改定を行うことについて以下の説明がなされ、賛否を諮りこれを承認可決した。

7月2日開催の2013年度第5回理事会(定例)で組織改定が承認されたが、それを更に改定し、意思決定のスピードアップを図りたい。これまで業務推進事業本部を始めとして事業本部が5つあったが、今回の改定で、管理部門としてプレジデント・オフィスを置き、事業部門として国際事業本部、M&M 事業本部、国内事業本部、強化事業本部の4本部を置き、これ

ら全てを事務局としたい。更にプレジデント・オフィスの中には総務部、経理部、企画部、新事業推進部の4つの部を置き、国際事業本部の中に国際業務部、M&M事業本部の中にM&M推進部、国内事業本部の中に国内業務部、強化事業本部の中に強化支援部を置く。

事務局の中で各部の業務を横断的に調整するため統括部長を設置し、事務局長を補佐する。また、専門委員会は各事業本部の中に置くこととしたい。

(2) 事務局長の選任について

議長より、事務局長の選任について以下の説明がなされ、賛否を諮りこれを承認可決した。

本年6月の理事改選後より、会長が事務局長と強化事業本部本部長及び業務推進事業本部本部長を兼務していたが、この度、事務局長を退任し、11月1日より西脇国際事業本部本部長に後任の事務局長をお願いしたい。

また、現行の事務局規程では、業務執行理事業務推進事業本部本部長が事務局長の任に当たる、と定められているため、西脇国際事業本部本部長は業務推進事業本部本部長も兼務することとなる。なお、新たな事務局規程が2014年1月1日より施行され業務推進事業本部が無くなるため、その時点で業務推進事業本部本部長の任が解かれる。

(3) 運営委員の選任について

議長より、運営委員の選任について以下の説明がなされ賛否を諮りこれを承認可決した。

7月2日開催の2013年度第5回理事会(定例)にて、運営委員10名以内の設置が承認された。ついては、本理事会で9名の運営委員を選任したい。運営委員は理事会に出席し、意見を述べ質疑に応じる事が出来るが、議決権は有さない。運営委員の候補者は、下記の9名である。

荒木田裕子、井原実、小縣徹男、加治健男、工藤憲、
高橋義雄、遠山友寛、宮島叔行、村松喜一郎(*五十音順)

なお、運営委員は次回理事会(2014年1月21日開催予定)より理事会に出席することとなる。

(4) 委員会委員の追加選任について

各業務執行理事より、委員会委員等の追加選任について以下の説明がなされ賛否を諮りこれを承認可決した。

羽牟会長より、戦略企画会議、アドバイザリーボード、公認推薦認定委員会、倫理委員会について委員の追加選任が提案された。

西脇国際事業本部本部長より、国際イベント委員会委員の追加選任が提案された。

岩満 M&M 事業本部本部長より、本部員の追加選任が提案された。

下山国内事業本部本部長より、各委員会委員等の追加選任が提案された。

羽牟強化学業本部本部長より、男女強化委員会の追加選任とアンチ・ドーピング委員会委員の選任が提案された。

上記提案を受け、女性の委員が少ないため、今後追加の余地があるならば女性の参加があると良い、という指摘があった。

(5) 特定資産の取り崩しについて

議長及び事務局員より、全国大会記念大会積立資産を全額取り崩すことについて以下の説明がなされ賛否を諮りこれを承認可決した。

全国大会記念大会積立資産は、将来の特定の支出目的に備えるために特定資産として保有している。全国大会開催後、大会の収支計算を行い、利益が出た際は特定資産として計上し、赤字となった場合は特定資産を取り崩していた。

特定資産の繰り入れ、取り崩しについてはその都度理事会の決議が必要であるが、特定資産の金額が僅少で特別に確保する重要性が乏しく、また、事務の簡素化を図るため、全国大会記念大会積立資産の全額取り崩しを提案したい。

なお、各全国大会の収支計算や、余剰金、不足金の精算方法は従来通りとする。

7 報告事項

(1) 功労者Ⅱ表彰について

岩満業務執行理事から、第4期(2013年度)第4回功労者Ⅱ表彰として下記の方の表彰を行うことが決定したとの報告があった。

○第4期(2013年度)第4回功労者Ⅱ表彰者

織部法雄(千葉県バレーボール協会参与)

武田憲一(山形県バレーボール協会顧問)

(2) 2013年度第2四半期職務執行報告

議長より、法令及び理事会運営規程に基づき、代表理事及び業務執行理事から第2四半期の職務執行報告を行うとの説明があり、羽牟代表理事及び業務執行理事から職務執行報告が資料に基づき行われた。主な報告内容は以下のとおりである。

羽牟代表理事 事務局長 業務推進事業本部本部長 強化学業本部本部長

①理事会・業務執行理事会・新理事向け説明会の開催

②第13回世界ユース女子バレーボール選手権大会の観戦

③AVC会議への出席

④第4回IFスポーツ医学委員協議会への出席

⑤ワールドグランドチャンピオンズカップ抽選会、国体開会式へ出席

⑥強化事業本部会議への出席

岩満業務執行理事 M&M 本部本部長

- ①オフィシャルスポンサーへのプロモート作業
- ②JVA 情報番組「VOLLEYBALL CHANNEL」内容確認作業
- ③肖像使用に関する作業
- ④新規公認、推薦企業の契約作業

下山業務執行理事 国内事業本部本部長

- ①会議出席
(若年層競技人口拡大プロジェクト、暴力撲滅に関する会議、東京国体、国内事業本部会議、ビーチバレーボール、黒鷲旗全日本男女選抜優勝大会、一般社団法人日本バレーボールリーグ機構運営会議)
- ②大会等視察
(東京国体、黒鷲旗全日本男女選抜優勝大会)

西脇業務執行理事 国際事業本部本部長

- ①大会運営
(ワールドリーグ、ワールドグランプリ、世界選手権 2014 アジア男女最終予選)
- ②AVC 会議への出席
- ③東京国体視察

小島業務執行理事

- ①ビーチバレーボール沖縄合宿参加
- ②ビーチバレーボール評議会開催
- ③AVC 会議出席
- ④発展途上国支援活動(AVC 関連)
- ⑤広報委員会開催

(3) 今後の理事会日程の変更について

議長より、今後の定例理事会の日程のうち、3 月開催予定の理事会日程の変更が案内された。日程は以下の通り。

1 月 21 日(火)、3 月 19 日(水)、6 月 5 日(木)

以上をもって議事の全部の審議を終了したため、議長は 16 時 10 分、閉会を宣した。

以 上